



2010.7.23～7.25 教会学校サマーキャンプ

十字架称賛

主任司祭 B・ノヴァク

「そして、モーセが荒野で蛇を上げたように、人の子も上げられねばならない。それは、信じる者が皆、人の子によって永遠の命を得るためである。」ヨハ3:14,15

もし、熱いものに触って、すぐにやけどするように、罪を犯した後にその悪い結果を体験できたならば、きっと人々は二度と罪を犯さなかつただろう。けれども、罪はこのように働かない。罪を犯すことを、夫婦の愛を裏切ることに例えることができると思う。即ち、結婚誓約に不忠実であつたり、配偶者の愛を裏切つたりすると、二人の絆が痛められても、夫婦がすぐに別れることはないだろう。けれども、そのような振る舞いを止めて、愛と忠実を尽くすようにならないならば、二人の絆が段々弱くなって、何時か完全に破られることが確実である。

モーセが旗竿にかけた青銅の蛇を見たユダヤ人たちは、先ず多くの人の死をもたらし自分たちの罪の結果を見ることができた。けれども、この青銅の蛇には、神の約束が付いていた。それは、「蛇にかまれた者がそれを見上げれば、命を得る」(民21・8)という約束であつた。

十字架に付けられているキリストの姿も、わたしたちの罪の最終的な結果を現わしている。それは、自分の心の中で神の愛と神の命を滅ぼし、自分を永遠の孤独に定めるといふ結果である。けれども、同時に、キリストの十字架は、苦しみや死よりも強い、忠実で不変な神の愛を現わすので、希望の源でもある。

わたしたちは、キリストの十字架を見上げるることによつて、自分自身の罪の恐ろしさを新たに意識しながら、十字架がもたらす希望によつて強められ、キリストと共に歩み、神の愛に忠実に生きることができるよう祈りたいと思う。

平日のミサ時刻:

月曜日・水曜日・木曜日・土曜日 午前7時
第3土曜日 午前10時30分 子供のミサ(マリア館)
火曜日 午後7時
金曜日 午前10時 初金曜日 午後7時
聖体礼拝: 土曜日 午後5時30分

主日のミサ時刻:

土曜日 午後2時30分
日曜日 午前8時・9時30分・午後6時
Sunday:
9:30 am Mass in English (Maria Kan-Hall)
第4日曜日 午後2時 ベトナム語のミサ

第五回運営委員会議事録

2010年9月5日

司祭団より

社会福祉委員会より依頼があり、来年7月17日の「名古屋教区障害者の集い」を南山教会で行う。来月の運営委員会で具体的な話を進める。

報告事項

1 信徒協より

7月11日司教様を囲む懇談会を南山教会マリア館ホールにて行った。

8月5、6日広島平和巡礼

信徒協から12名、青少年委員会から20名ほど参加。今年は新幹線利用。平和行進とミサを行った。ミサは聖公会と合同。まだ参加したことがない方は、一度参加されるとよい。

9月12日金沢卯辰山巡礼

9月26日城東ブロックの集い13時〜南山教会マリア館にて「今、日本でカトリックであるとは」をテーマに片山はるひ氏講演とミサ

2 カトリックドミニコ会少年少女合唱団来南

7月18日のミサ中に合唱。ミサ後、マリア館ホールにて

中高生会と交流。

富山への移動中に交通事故に遭ったが、合唱団の方は無事に帰国できた。

3 平和の祈り

8月6日8時〜ミサ

城東ブロック行事として、森山師の司式でミサを捧げた。

他教会の方々の参加もあり、昨年度よりも人数が多かった。

8月9日10時45分〜聖体賛美式

4 聖母被昇天祭

8月15日9時半ミサ時にルルドで祈りを捧げた。

ミサ後、マリア館にてパーティーを行った。百名以上の参加があった。8月15日が日曜日の年にはパーティーを行うというので今年行った。同じように8月15日が日曜日となるのは11年後。

審議事項

1 ミサ時の座り方について

前方・中央から詰めて座っていただく。

後方の丸イスは、撤去する。

最後列は、優先席の位置づけとし、小さな子ども連れの方や車イスの方用にあけるようにする。紙で表示をする。

遅れて入っていらっしやる方が多いことも問題。

2 バザー実行委員会より

テーマ「感謝と喜びの輪を広げよう」

10月24日(日)開催

9月18日より食券販売。販売はヨセフ会とマリア会で分担。

9月12日に倉庫整理

勤労青年の会がフランクフルト販売を予定。手が足りない場合は、ヨセフ会が手伝う。

アトラクション用の舞台を作

成する。費用7万円はバザーの収益から出費する。

これまで個人の持ち出しに頼っていた洗い場の日除けも

教会備品として整備する。整備費用8万円はバザー収益から。

食券は、昨年度と色を変え

る。芋煮は百円で現金売り。

3 敬老会について

9月19日(日)11時〜マリア館にて実施。12時半終了予定。ミサ後、病者の塗油と聖歌隊の歌のプレゼント2曲。

54名出席予定。その他に司祭

4名と運営委員長、副委員長が出席。計61名。音響を担当して

くださる方にもお弁当を用意。お弁当のほかにお饅頭も用意。

当日は日英合同ミサ
前日14時30分のミサ後に準備

(ヨセフ会は机セッティング)

アトラクションは、教会学校の歌と手作りのしおり、中高生会のビンゴ、伊藤氏による手

品、司祭からの御絵のプレゼント。子どもたちにはマリア会でお菓子を用意。

4 ゴミ処理費用の予算化

美化の際に出た生木の処理やバザーのゴミの処理を産業廃棄物として行っている。これまでは、個人の善意で行っていたが、実際にかかっている費用を教会で負担するべきではないかという提案があった。

教会美化時の処理にかかる費用は、実費を教会で負担する。

バザーのゴミ処理について

5 教会内水道管漏水について

教会内に2種類の水道管がある。消火栓用の水道メーターを通らない水道管と水道メーターを通じて費用が発生する水道管の2種類。

消火栓用の水道管で漏水が見つかつたが、その調査過程で、料金が発生しない水道管に日常的に使う水道管が繋がっている場所があることが判明。本来の管につけかえる必要がある。詳しくは、次回検討する

各会報告

信徒協

役員選挙に向けて南山教会内の人選を進める必要がある。

財務委員会

名古屋教区出資金一千万円が、組織の解散に伴い、返金された。定期預金に組み入れた。

勤労青年の会

発足して4ヶ月。8月中はお休みとした。9月から再開するが、集会内容は、ニコ師指導の聖書勉強と分かち合い。

教会学校

キャンプ実施 7月23日(金)

25日(日)多治見修道院にて30名参加

ロザリオ、ご聖体礼拝、十字架の道行などお祈りを中心に教会らしいキャンプになった。

聖母被昇天祭 8月15日(日) 10名ほどの女子が天使の奉仕。

ロザリオ先唱、献金のお手伝い等を行った。

侍者会 8月29日(日)ニコ

師、典礼委員会と協力。新しいメンバーを含め20名の男子が集まり、ミサ応えの心構え、具体的な動作などを学んだ。

レジオマリエ

第2・第4火曜日、教会に来られない病人の方の訪問を司祭と

ともに行っている。

レジオマリエ名古屋クリア主催黙想会を、7月10日野村司教様指導のもと南山教会で行った。

手話の会

長い夏休みを終え、本日(9月5日)から勉強・交流を再開。

要約筆記の会

7月18日安城教会にて行われた教区カトリック障害者の集いでOHCによる要約筆記奉仕。

ボーイスカウト

上進式 9月26日10時 小聖堂にてスカウトの進級を祝福し、成長を祈る。

名古屋祭沿道警備 10月16日17日 教会バザー協力

豚汁調理提供、テント机椅子設営、会場警備、ゴミ整理分別、会場後始末

海水浴訓練無事終了 7月17日 19日知多半島内海 40名参加

山岳訓練無事終了 8月13日 15日豊田市青少年自然の家にて

40名参加

大樹の会

9月26日9時半ミサ後マリア館和室にてお茶会を開催予定。是非出席を乞う。

9月19日敬老会の開催に感謝。

典礼奉仕者の会

8月6日9日平和の祈り

8月15日聖母被昇天祭

皆様のご協力に感謝

9月12日典礼奉仕者全体集会

典礼委員会

8月6日9日平和の祈り

8月15日聖母被昇天祭

8月29日侍者会 20名参加

9月12日十字架の称賛

(日英合同ミサ)

9月20日名古屋教区典礼研修会

うれしいはつせいたい

マリア・ミカエラ まつばらゆめ

二年生になって、はつせいたいの、べんきょうかいを、うけることが、できるようになって、うれしかったです。まいしゅうアントニー先生と、おとんだちといっしょに、たのしくべんきょうを、うけられました。とくに、「おばあちゃんのパン」の、えいがが、心にのこっています。

イースターに、とくべつなパンをやくことや、かぞくのいっちをたいせつにしているおばあちゃん、よかったです。

これからかぞくいっしょに、ごせいたいを、うけられるようになって、まいしゅう日曜日の、ミサが、たのしみになりました。

ボーイ暑い名古屋から海へ!

伊藤 宗太郎

ボーイ97団は長い梅雨明けを待つて、去る7月17日19日に南知多半島海岸に飛び出した。総勢40名が地下鉄、名鉄を乗り継ぎ、愛知県美浜少年自然の家(小野浦海岸)へ大きな荷物を抱えながら徒歩で到着。

自然の家の木陰で昼食、オリエンテーション、部屋割り後、全員焼けつく海岸へ走り出した。準備体操、ごみ拾いに汗を流し、いよいよ待望の海中へと飛び込んだ。

着衣のままの水泳、海中での脱衣、ペットボトル浮遊、背面浮きなど訓練を行なった。ようやく暑さから脱出できた。

入浴と夕食後、ボーイ、カプ隊がペットボトルと発泡スチロールを竹で組み合せて、イカダを製作した。

翌日の朝、少年自然の家で宿泊団体交流セレモニーがあり、年少のボーイが97団を立派に紹介し、盛んに拍手を受けた。

5ページの最下段へつづく

愛と苦しみ(その19)

人間の癒しの源であるキリストの受難と復活

5・3・2

神の無罪の証

扱である神の愛

「イエスはお答えになった。
「第一の掟は、これである。
『イスラエルよ、聞け、わたしたちの神である主は、唯一の主である。心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くし、力を尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。』」マコ12・29³⁰

人間は神によって、または神に向けて創造されています。神の命に与ること、つまり愛によって神と結ばれることこそ、人生の目的であり、人間にとって最高の幸福なのです。聖アウグスチヌスが言ったように、「主よ、あなたはわたしたちを、ご自分に向けてお造りになりました。ですから、わたしたちの心は、あなたのうちに憩うまで、安らぎを得ることができないのです。」神は全ての人

を愛し、一人ひとりのために完全な幸福を求めておられます。ですから、人間の外面的な振舞いというよりも、人間の心の動きを見ておられます。言い換えれば、神が求めておられるのは、人間が神を恐れて、奴隷のように口を止めて聞き従うことではなく、人間が神を愛するようになること、神と一つの心になることなのです。

人間の心において神に対する愛を起し、人間をご自分のもとに引き寄せるために神はすべての人、特に神を不正に訴えて神が悪を行って、自分の不幸の原因であると言っている人、神が人間の苦しみに関して無関心や無力であると言っている人と対話しておられます。神はそのような訴えに応えて、人間の不幸が神の働きの結果ではないこと、つまり神が「無罪」であるということを示すために、ご自分が何の悪も行わな

いし、人間に害を与えないだけではなく、ご自分自身が静かに人間の手から色々な苦しみを受けていることを現したださつています。イエス・キリストこそ、ご自分の「無罪」を示す神の応えなのです。十字架に付けられたイエスは、傷つけられ苦しんでいる神の愛を最も完全に現したために、人々を神のもとへ最も力強く引き寄せているわけです。

参照…1コリ8・6

テモ2・4ヨハ6・44ヨハ12・32

5・4 傷つけられた神の愛

「打とうとする者には背中をまかせ／ひげを抜こうとする者には頬をまかせた。顔を隠さずに、嘲りと唾を受けた。」イザ50・6

愛する人に無視される時、その愛が悪用されたり、裏切られたりする時に人間は非常に深く傷つけられます。愛が深ければ深いほど、この人の苦しみが大きくなります。全ての人を無限に愛してくださる神、愛そのも

のである神は、人間によって無視されることが殆どです。多くの人は、自分たちの自己中心的な目的に達するために神の愛を利用しようとしています。神の愛が度々裏切られています。そのような人間の振舞いは、どれほど神を傷つけているのでしょうか。そのような人間のせいで、神はどんなに苦しんでいるのでしょうか。このことが分かるために、十字架上のイエスの姿を見る必要があります。なぜなら、十字架上で血だらけ、傷だらけのイエスの姿は、人間の無関心や他の罪などによって神がどれほど傷つけられているか、どれほど苦しんでいるかということを現しているからです。

イエス・キリストは、誰も想像も出来ないほどの残酷な拷問を受けました。それでも、イエスの受難は、時間においても、酷さにおいても限られたものでした。人類の歴史の中でイエスよりも長く苦しみ、イエスよりも大きな肉体的な痛みを体験した人がいたと考えられます。それにも関わらず、イエスのこの



有限な苦しみを完全に知ることから逃げることを許さなかったことが出来ないでしょう。イエスの肉体的な苦しみを知る程度は、その時代の拷問の方法の知識や、個人の創造力や感受性によるものなのです。それから、肉体的な苦しみよりも、精神的な苦しみや霊的な苦しみを知られる方が遥かに難しいことでしょう。このような内面的な苦しみを知ることが、イエスを愛する人、この愛によってイエスと内面的に結ばれ、イエスの心の動きを感じ取ることの出来る人だけに許されています。そのために、イエスの心の苦しみを知る程度は、イエスに対する愛の深さによるものなのです。けれども、啓示の肝心なところというものは、イエスの苦しみの大さきさではなく、イエスの愛の大さきさ、危険な時にもご自分を苦しみや死から救うために人間か

ら逃げることを許さなかったこと
の愛の偉大さであるということ
を忘れてはいけません。

確かにキリストの受難は、神ご自身の受難を完全に現すことが出来ません。けれども、この受難は神の苦しみと神の傷つけられて愛を知るための最も完全な手段であるし、人間が神の愛に引き寄せられ、神に關した自分の心を開くために、その愛を十分に現すものなのです。この偉大な恵みを無駄にしないために、わたしたちはイエスの受難をよく黙想し、それを益々よく理解し、知るよう努力する必要があります。特に大事なことは、わたしたちがイエスの受難に預からせていただく恵みを願うことです。なぜなら、わたしたちは、イエスの受難について理解を深めることによって、神の愛の神秘を益々深く知ることが出来ますが、キリストの受難を体験することによってわたしたちの心が変えられるからです。

とが出来ますが、キリストの受難を体験することによってわたしたちの心が変えられるからです。

イエスの受難は、数時間続けて終わり、歴史において一回限り起こったことなのです。けれども、イエスが現した神の受難は、人間が初めて罪を犯した時から今に至るまで続いてきて、人間が罪を犯し続け、苦しむ限り続きます。その意味で、およそ二〇〇〇年前に起こったイエスの受難は、過去のことではなく、わたしたちの時代と何の関係もないものではありません。イエスの受難は、わたしたち自身の無関心や犯している罪による現在の受難を現すのです。そのために、神がどうしてご自分の苦しみをわたしたちに現して下さっているか、この啓示によって何を呼びかけて下さっているかというのを理解するのは、現代に生きているわたしたちにとっても非常に大事なことになるわけです。神がご自分の受難を現して下さった理由について、次回に考えてみたいと思います。

イエスの受難は、数時間続けて終わり、歴史において一回限り起こったことなのです。けれども、イエスが現した神の受難は、人間が初めて罪を犯した時から今に至るまで続いてきて、人間が罪を犯し続け、苦しむ限り続きます。その意味で、およそ二〇〇〇年前に起こったイエスの受難は、過去のことではなく、わたしたちの時代と何の関係もないものではありません。イエスの受難は、わたしたち自身の無関心や犯している罪による現在の受難を現すのです。そのために、神がどうしてご自分の苦しみをわたしたちに現して下さっているか、この啓示によって何を呼びかけて下さっているかというのを理解するのは、現代に生きているわたしたちにとっても非常に大事なことになるわけです。神がご自分の受難を現して下さった理由について、次回に考えてみたいと思います。

とが出来ますが、キリストの受難を体験することによってわたしたちの心が変えられるからです。

参照：イザ 52・13・53・12

ヨハ 19・28

(つづく)



3 ページ 最下段からのつづき

苦心の傑作イカダ三隻の進水式を行って早速乗り込み満喫した。やはりボーイ隊の作った大きいイカダが大人気だった。ペットボトル遊泳、着衣泳ぎや水中脱着訓練、4キロの荷物泳いで持ち帰るタイムトライアル、スイカ割り、50 m 55秒（スカウト水泳章）などに挑戦した。

二日目の夜は虫取り名人のお父さんが木に登って、つぎつぎと虫を捕らえ歓声があがった。全日程が晴天で、計画どおり順調に終了。

最終日には荷物整理と掃除をして午前9時半に少年自然の家を後にした。

アア、楽しかったなあ！
全員日焼けで痛い！

ボーイ山キャンプで駆け巡る

伊藤 宗太郎

去る8月13日～15日にかけて、97団は夏山岳訓練へでかけた。ホーイ、カブ、ビーバー、隊長家族総勢40名が観光バスで、豊田市総合野外センターへ向かう。

13日午前11時半に到着。オリエンテーション、スカ弁昼食、部屋割り、野外テント張りなど忙しく動き回る。台風の影響を心配したが、濃い山の緑と涼やかな空気を満喫していた。

夕食にはカブ隊は野外料理としてカレーライスを調理していた。ボーイ隊は豪勢にバーベキューを楽しんでいた。

だが、ボーイは三日間は野外



のテント訓練で、冷房完備の生活とはオサラバだ。彼等の言によればTシャツは汗で濡れっぱなしだった。それでもカブ隊の子どもたちは宿泊棟から抜け出して、お兄ちゃんたちのテントにもぐり込んでいた。
フクロウの森の肝試し、焙烙（ホウロウ）山への登山、迷路ゲーム、キャンプファイヤーなど、盛り沢山の行事を楽しんだ。雨にも合わずに子どもたちは三日間の山の生活に満足した。15日最終日には全員無事に教会中庭に帰ってきた。
おもしろかったね！

柴田潔助祭の説教

南山教会に在籍していらした柴田潔助祭の説教をご紹介します。柴田さんはイエズス会の司祭として9月23日(祝)聖イグナチオ教会大聖堂で叙階されました。皆様、お祈り下さい。

ヨハネ20・19～31 4月11日

今読まれた福音は、復活節第2主日に毎年読まれるトマスに

イエスが現われてくださる話です。イエスは、私たちの罪のために十字架につけられ、命を捧げ、弟子たちに現われてくださり、聖霊まで注いでくださいました。イエスは、すべてを与え尽くして私たちに救いをもたらさうとされています。今日は、イエスに残された釘跡からにじみ出る「平和」を私の召出し・家族との関わりと結びつけながら考えます。

十字架上で亡くなり復活されたイエスは1週間たって、直接弟子たちの前に現れます。そして、弟子たちに「平和があるように」と声を掛けます。その時

弟子たちの気持ちは、どうだったでしょう？暗く沈んで、希望を見失っていました。大好きでいつも一緒にいて下さったイエスが殺されてしまった失望感、ユダヤ人から見つかったら先生のように殺されてしまう恐れ、イエスを見捨てにげてしまった罪悪感、どれも大変な重荷で、どうしたらいいかわからなくなつて戸に鍵を掛けて閉じこもっていました。

イエスは、弟子たちを、失望感、恐れ、罪悪感から解放するために「平和があるように」と声を掛けてますが、言葉だけでは自分の思いを理解させることはできません。そこで、「平和」を実感させるために、十字架上で付けられた釘跡を弟子たちに示されます。弟子たちにとって、自分たちの情けなさや申し訳なさを思い出させますが、あえてそうすることで、すべてがゆるやかになっていることが段々と分かってくる。弟子たちは、やつと三つの苦しみから解放される喜びを実感できました。傷跡は、自分たちの弱さ情けなさ、イエスのゆるし、愛を感じ

させました。この恵みから離れると私たちの生活は苦しいものになります。

3週間前に、助祭叙階の恵みをいただき、先週、ご復活祭を迎えた私も、イエスの傷跡から「平和・ゆるし・慰め」をいただ

いていました。けれども、先日、家族とのことで「心の平和」

がなくなくなってしまいました。前にも、お話しさせていただきました

ましたが、私の家族は信者ではなく、イエズス会に入ることも

反対していたので助祭叙階式に招くことができませんでした。

高円寺教会の8名の方々に家族の代わりに出席していただきま

した。そこで、9月の司祭叙階式には、出席してもらいたいと

母に話をして、その返事がメールで返ってきました。その中の

一部を読みます。

9月の式典ですが、貴方の言う様に聖堂のどこから様子を

見守ることで、お父さんに話しました。私より抵抗があるよう

です。本来なら、両親として挨拶をしなければいけない方々が

いらつしやるのでしよう

が……家族として

は、未だに納得出来ないのでは、けれども、12年もの間、信

念を貫いたことは、それなりの思いがあつたのでしよう。いろ

いろと忙しくなるでしょうが、身体には気を付けて過ごして下

さい。母より

このメールを読み返しながら、私は家族に取り返し

のつかないことをしてしまっている、罪悪感をまた感じはじめ

てしまいました。家族への申し訳なきが、叙階の恵みも、ご復活の喜

びも消し去ってしまったように感じました。けれども、時間

がたつにつれいくつかのことに気づいて来ました。

私は家族に傷を与えてしまっ

ています。家族の傷はイエスの釘跡と重なること。どちらの

傷も、私が失望するためでなく、私を愛そうとして作られた傷で

あること。傷をなかつたことに迎えました。私のように

すれば、私の人生は根本的に否

定されてしまうこと。このよう

に思えてくると、実は私は傷に

失い、神様から受けた恵みを感じ

なくなりがちです。そんなと

きに、助けになるのは、祈りで

支え合う共同体だと思います。

高円寺の教会には、聖霊が働

いて、人を助けたい、人の

ために祈りたいという人々が沢

山いる教会です。心の平和がな

い、胸のつかえが取れないとい

う方は声を掛けていただきたい

と思います。イエスは、「信じ

ない者ではなく、信じる者にな

りなさい」と私たち一人一人に

言われます。

私たち、一人ひとりが、でき

ることなら全員が、イエスを信

じて救われていくプロセスに

入っていきけるように、そのため

の恵みを願いながらこのミサを

続けましょう。



真ん中の方が柴田潔助祭です。

教会学校 サマーキャンプ プログラム

多治見修道院にて

7月23日(金)

9:30	集合 南山教会大聖堂前
12:00~13:00	昼食(おべんとう)
14:00~16:00	修道院木陰でスイカ割り
17:00~17:30	十字架の道行
18:00~19:00	夕食
19:30~20:30	きもだめし
20:30~21:20	入浴
21:20~21:30	一日の反省
21:30	消灯・就寝



7月24日(土)

6:30	起床
7:00~8:00	ミサ聖祭
8:00~9:30	朝食
10:00~12:00	ハイキング
12:00~13:00	昼食
14:00~15:00	敬老の方々のためのお祝いしおり作り
16:00~16:30	聖書の分かち合い
17:00~17:30	ご聖体礼拝・ロザリオの祈り
17:30~19:00	夕食
19:30~20:30	キャンプファイヤー、花火
20:30~21:20	入浴
21:20~21:30	一日の反省
21:30	消灯・就寝

7月25日(日)

6:30	起床、洗面
7:30~8:30	朝食
9:30~10:30	ミサ聖祭
10:30~11:30	清掃
12:00~13:00	昼食
13:00~14:00	感想文
14:30	多治見修道院出発
17:00	解散 南山教会大聖堂

カトリック教会のカテキズムより

- 105 神が、聖書の作者です。「聖書に含まれ、かつ、示されている神の啓示は、聖霊の靈感によって書かれたものです」。
- 「尊き母なる教会は、旧約および新約の全部の書をそのすべての部分を含めて、使徒的信仰に基づき、聖なるもの、正典であるとしています。なぜならそれらの書は、聖霊の靈感によって書かれ、神を作者とし、またそのようなものとして、教会に伝えられているからです」。(第2コンスタンチノーブル公会議)
- 106 神は、人間である聖書記者に靈感を授けました。「神は、聖書の著作にあたって、固有の能力と素質を持った人間を選んで、これをお使いになりました。それは神が彼らの内に、また彼らによって働く間に、彼らが、神が望むことをすべて、そしてそれだけを、真の作者として書くためです」。
- 107 靈感によって書かれた書は、真理を教えます。「それゆえ、靈感を受けた作者、つまり、聖書作者が断言していることは、聖霊から断言されたこととすべきであり、したがって、聖書は、神がわたしたちの救いのために書かれることを望んだ真理を堅く、忠実に、誤りなく教えるものであるといわなければなりません」。
- 108 とはいえ、キリスト教信仰は「書物の宗教」ではありません。キリスト教は神の「ことば」の宗教であって、そのことばは、「記されているだけの無言のことばではなく、受肉して生きているみことばです」。聖書が死んだ文字となることのないように、生ける神の永遠のことばであるキリストが、「聖書を悟らせるために」聖霊によってわたしたちの「心の目を開いて」くださることが不可欠です。

サマーキャンプ

六年 細見 早代

私は、友達にあやから、キャンプに行かない。ときぞわれました。ズート楽しみにしてました。

23日バーベキューがありました。その前からズートほかの子となじめませんでした。きもだめしの時、初めてあやとゆめちゃんとしゅんちゃん以外の子どもと話せました。ものすごいうれしかったです。

24日ぜんぜんねむれず朝もすぐくねむかったです。24日はハイキングもキャンプファイヤーもあつたので、ドキドキしてました。ハイキングもたのしかったですし、キャンプファイヤーもすべて楽しかったです。

25日夜はものすごいねれてつかれがとれた気がしました。25日は「ミサ」がありました。初めてのことでしょうか!?と心配してたけど、心配するひつようもなく、すぐよかったです。この3日間テレビも見ないでしらない子と楽しく出来てよかったです。

サマーキャンプ

六年 濱口 綾

私は、23日の金曜日に、教会のサマーキャンプで、多治見の修道院へ行きました。最初は、地下鉄にのり、次にJRに

乗り、大型のタクシーに乗りました。修道院についてまず、部屋わりをしました。女子は、ガブリエルハウスでした。昼食は、お弁当を食べて、夜は、バーベキューをしました。いもやなす、お肉を焼いていました。焼きそばがとても、おいしかったです。それからきもだめしをしました。最初は、こわかったです。最初は、こわかったです。でも、なく子もできて、でも、思っていたよりコースが短く、あまりこわくありませんでした。

24日は、ねぶそくで目の下にねる時は、ぜんぜんねむれななくて12時ぐらいままでおきていました。

24日は、ねぶそくで目の下にねる時は、ぜんぜんねむれななくて12時ぐらいままでおきていました。24日は、ねぶそくで目の下にねる時は、ぜんぜんねむれななくて12時ぐらいままでおきていました。また、行きたいと思いました。

サマーキャンプ

宮本 恵理子

七月二十三日から二十五日に、多治見教会に行きました。私が楽しかったなあとおもうものは二つあります。

一つ目は、キャンプファイヤーです。今年のスタンプは、クイズを出しました。みんな楽しんでくれたと思います。みんなのスタンプが終わって、花火をやりました。私もやっています。とちゅうで、はなれて見てみたら、けっこう楽しかったです。

二つ目はバーベキューです。にんじん、ピーマン、とうもろこし、なす、お肉、ソーセージ、たくさんありました。さいしょに、にんじんを食べたら、コリツといて、生っぽい味がしました。お肉は、1個も食べませんでした。お肉は、1個も食べませんでした。でもそのあとに、マッシュマロをもらって少しいだけ、火であぶって食べました。とろとろで、おいしかったです。

3日間とっても楽しかったです。すぐ楽しい3日間でした。

サマーキャンプ

六年 熊谷 菊那

私は7月23日〜25日まで多治見しゅうどういんにキャンプに行きました。

1日目はじめての日で、とても大きいのでびっくりしました。そして、夜はバーベキューをして、そのあときもだめしをしました。さいしょはこわかったけど、いってみるとふつうでたのしかったです。そして、ねるときなかなかねれなかったです。

2日目は、ハイキングと、キャンプファイヤー&花火をやりました。ハイキングで、コイをみて、えさをあげてみると、みんなとてもおおいかったです。そして、いたべていました。そして、キャンプファイヤーでは、スタンプをやりました。花火もやりました。

3日目は朝のごミサをやったので、3日間とっても楽しかったです。できたらまたきたいです。

サマーキャンプ

児島 理紗子

私は7月23日〜25日まで多治見修道院にいきました。一番はじめに、自分がとまる家を見たととき、とってもワクワクしました。自由時間にはいっぱい遊びました。そして夜、外でバーベキューをやりました。私はお肉があんまり好きではないので、やきトウモロコシを食べたり、やきそばを食べました。とってもおいしかったです。そしてごはんを食べた後は…。「きもだめしく」。グループを



つくつてみじかいコースを歩きました。はじめにきーちゃんに会いました。でもきーちゃんには、最初からいると知っていたのでぜんぜんこわくありませんでした。次にひろせさんに出会いました。でも、ちょっと見えていたのでこわくありませんでした。次にちさちゃんに出会いました。ちさちゃんがおどろかしてきて、とってもびっくりしました。さいごに伊藤リーダーに出会いました。伊藤リーダーがおどろかしてくるのが一番こわかったです。そしてお風呂に入ってしまった。次の日の夜、キャンプファイヤーをやりました。クイズやマジックをやりました。とっても楽しかったです。出し物がおわったあと、リーダーたちがうたをうたいました。とっても上手だったです。さいごに花火をやりました。とってもきれいでした。そしてお風呂に入っていました。さいごの日大変でした。とっても大変でした。

感想
1日目より2日目の方がよくねられた。色々あったけどとっても楽しかったです。



8月15日 聖母被昇天祭パーティー



7月18日 台湾天主教増徳児童少年合唱団

ブレシ師帰天

協力司祭としてお世話になっていたフランシスコ・ブレシ神父様が8月16日に亡くなられました。

ブレシ神父様は、協力司祭としてご奉仕くださる以前に南山教会でご奉仕くださっていたことがありま。左の写真のとおりです。

改めて感謝の気持ちを表すとともに、ご冥福をお祈りしたいと思います。

1957年、フランシスコ・ブレシ神父(30歳) 南山教会日曜学校担当





カトリック南山教会 バザー

Nanzan Church Bazaar 2010

感謝と喜びの
輪を広げよう

2010年

10月24日(日)

午前10時45分から午後1時30分まで

新品コーナー フリーマーケット コーヒー・ケーキ ビール・ジュース 焼きそば
おでん から揚げ 洋菓子 栗ご飯 ぜんざい みたらし お抹茶・和菓子 等

寄付受付 9月18日～10月23日

教会事務所を通じて

食券販売 9月18日～10月23日

主日ミサ後 聖堂玄関または、

教会事務所にて

当日は、駐車場の準備がありません。公共交通機関をご利用下さい。
地下鉄 鶴舞線いりなか駅2番出口 南へ4分

カトリック南山教会 昭和区南山町1 (052) 831-9131 <http://nanzankyokai.net>

南山句会

平成二十一年六月四日



七夕や大事な願い忘れけり
 真剣な瞳集まりメロン切る
 徒々に思ふことあり梅雨深し
 サツカーに沸く日本や梅雨寒し
 米粒の如くたわわに花南天
 庭先の石に寄りそうつつじかな
 病葉のひらひらひらと舞ひにけり
 散髪を終え猫颯爽と夏の庭
 七夕や逢へることなき夫偲ぶ
 「はやぶさ」につきぬ憶いや夏の夢
 八雲忌や雪おんなめく辻の町

光子 洋子 蓉子 瑞子 とく子 紀子 ひろし せつ子 牧子 幸男 のぼる

毎月第一水曜日午後一時半
 マリア館一階集会室

信者の消息

結婚

♡ お幸せに ♡

8月28日
 伊藤修己♡クララ山田麻帆

帰天

ご冥福をお祈りいたします

シルビノ 木村 崧 (74歳)
 MARIA MARTILDA SCHROTH (89歳)
 マリア・ハルナデッタ 出町君恵 (96歳)
 カタナ 横井容子 (60歳)

転出

いつまでもお元気で

アルベルト 由比 健郎 (大和)
 マリア 由比 裕子 (大和)

2010年9月・10月度行事予定表

	教会典礼歴	南山教会行事	各会活動	教区行事・その他
9月	14(火)十字架称賛祝	12(日)聖十字架のミサ (教会の名称の祭日) 日英合同ミサ(9:30) 19(日)10:30合同病者塗 油の秘跡 11:00敬老会 23(木)ボクダン師霊名の祝日 26(日)教会美化	3(金)マリア会例会(懇談会) 5(日)運営委員会 5(日)教会学校始業式 12(日)典礼委員会 12(日)ヨセフ会班長会 18(土)10:30子ども部屋 25(土)要約筆記付きミサ	23(水)教区典礼研修会 23(水)教区八事合同 慰霊祭 26(日)世界難民移住 移動者の日 26(日)城東ブロックの 集い(午後1時・ 南山教会)
10月	ロザリオの月 24(日)世界宣教の日	24(日)バザー	1(金)マリア会例会(懇談会) 3(日)運営委員会 教会学校巡礼 10(日)ヨセフ会班長会 16(土)10:30子ども部屋 17(日)典礼委員会 23(土)要約筆記付きミサ	21(木)司祭協議会 16(土)司祭叙会式 (神言会) 24(日)世界宣教の日 (献金) 28(木)司祭評議会